



**大きな竹で手作りしたよ
 地域みんなでそうめん流し**

西谷小学校の自然体験教室で、地域住民主導のもと、西谷小学校、西谷幼稚園の子どもたちや先生、保護者、卒業生などがそうめん流しを行いました。地域で採れた大きな竹を使って、そうめんを流す「とい」や、お箸まで手作りする体験に子どもたちの目はキラキラ。そうめんの他に野菜やフルーツも流れてきて、子どもたちは大はしゃぎしながらお箸で掴み取っていました。



**未来のスター選手が出てくるかも？
 新設部活動種目体験会**

東温高等学校では来年度から、アーチェリー、レスリング、なぎなたの3部を新設することに先立ち、小、中学生向けの体験会が同校の武道場で開催されました。取材時は、アーチェリーとレスリングの体験日で、子どもたちは、指導者の説明を聞き、試行錯誤しながら体を動かしていました。「最初は、どんな競技か分からなかったけど、楽しかったので、またやってみたいです」と笑顔を見せていました。



**「あまい!」「おいしい!」と声が聞こえてきました
 とうもろこし収穫体験**

西谷小学校の児童が、学校前の畑でとうもろこしの収穫を行いました。「どれがいちばん大きいか？」と目を輝かせながら選ぶ姿は、とても楽しそうでした。

収穫後は、とうもろこしを学校で茹で、炭火で焼いて調理。子どもたちは塩、バター、醤油の中から好きな味を選び、大きな口でとうもろこしを頬張り、満足そうな笑顔を見せていました。



**送る相手を思いながら心を込めて描く
 絵手紙教室**

創作活動や協力活動を通して、豊かな心情やお互いを尊重し合う心を養うため、毎年福祉館で絵手紙教室が開催されています。今年は、川内中学校美術部の12人が参加し、講師の指導を受けながら、夏の野菜や果物の絵を描きました。参加した生徒は、かぼちゃの絵に「君たち、甘いよ」、トマトの絵に「心を赤く、成長する。もっと染まれる」とメッセージを添えるなど、素敵な作品を作り上げていました。

**ずぶ濡れで全力真剣バトル
 ウォーターサバゲー**

小学4～6年生を対象に、地域で体験活動等を行う通年講座「わんぱく広場」(主催：生涯学習課)の一環として、なめがわ清流の森において、砥部町と合同で、ウォーターサバゲーを実施しました。

ルールは、頭に付けたポイを狙って水鉄砲で撃ち合い、敵のポイをより多く破ったチームが勝利。子どもたちはずぶ濡れになりながら、真剣な表情でゲームを楽しんでいました。



**はだか麦、古代米を使って親子で作ろう
 ティラミス作りなどに挑戦**

市総合保健福祉センターで開催されたふれあいスクールランチ教室に小、中学生と保護者12組が参加し、市特産品の古代米を使った「赤米入りドリリア」やはだか麦を使ったティラミス作りなどに挑戦しました。参加者は、講師から料理のコツを教わりながら調理を楽しみ、完成した料理を美味しく味わいました。調理や洗い物をする機会が少ない子どもたちにとって、挑戦する良いきっかけとなりました。



選手もサポーターも笑顔に 愛媛 FC サンクスイベント開催

愛媛 FC シーズンシートホルダー対象の「サンクスイベント」がクールス・モールで開催され、200人を超えるサポーターが参加しました。イベントでは、写真撮影やゲームができる場所が設けられ、選手とサポーターが顔を合わせて交流できる貴重な機会となりました。参加者は、「選手の目を直接見て話せたり、似顔絵を描いてもらったりして楽しかったです。これからも応援し続けます」と話していました。



エコな取組の最前線を知る 愛大生が市内をフィールド実習

愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科の学生が、①オオノ開発(株)、②レンゴー(株)、③市給食センターを訪問し、それぞれの環境に配慮した取組を学びました。参加した学生は「環境問題や再生可能エネルギーに対する各施設の意識の高さを実感しました。今回の経験を活かし、データの収集、分析を通して地域の発展に貢献していきたいです」と意気込んでいました。



リアルな東温トークが聴ける とうおん、ロックオン! ラジオがスタート

インターネットラジオ局「ホンマルラジオ」で、リアルな東温暮らしの様子が聴けるラジオ番組がスタートしました。毎週、市ゆかりのゲストをお迎えし、ここでしか聴けない本音トークをお届けしています。放送日は毎週④21時から、翌日0時以降は、いつでも聴くことができます。地元の話が盛りだくさんですので、右記二次元コードから是非東温トークをお聴きください。



今年もアートの祭典を開催します アートフェス 2025 開幕!

「とうおんアートヴィレッジフェスティバル 2025」開幕記者会見が、東温アートヴィレッジセンターシスター NEST で行われました。同フェスティバルは、平成 30 年から毎年開催されているアートの祭典で、本格的な演劇やコント、ワークショップなど多彩なプログラムを展開しています。今年度のテーマは、「共鳴」。プログラムの詳細は、右記二次元コードからご覧いただけます。



知事が東温市で意見交換 知事とみんなの愛顔でトーク

中予6市町の地域住民と中村知事が率直な意見交換を行う「知事とみんなの愛顔でトーク」が、中央公民館で開催されました。知事は、冒頭の挨拶にて「愛顔あふれる愛媛づくり」をテーマに県の現状や今後の展望の説明を行った後、参加者から寄せられた課題一つひとつに耳を傾け、自らの考える解決策を示していました。本市からは3人が出席し、それぞれの立場から意見を述べました。



認知症でも自分らしく暮らせる社会を目指して キャラバン・メイトが市長を表敬訪問

認知症サポーターキャラバン・メイトの中村法子さんと鈴木ヤエ子さんが市長を表敬訪問し、日々の活動を報告されました。お二人は、「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会を実現するため、頑張っています」と話していました。市長は、「高齢者の人たちが元気に暮らしていくためには、地域の人たちの手助けは欠かせません。皆さんの活動は、とても力になっています」と感謝の言葉を述べていました。



災害時に助け合う仲間と一緒に学ぶ 婦人会の防災学習プログラム

市内の女性団体や中学生などが参加し、介護美容に携わる瀧野祐美子さんによる災害時の寄り添い合いに関する講演や、市職員による被災地支援の経験を踏まえた講演、防災グッズの見学などが行われました。川内中学校2年生の都築野々花さん(左下写真左端)は、「災害時に誰かに寄り添ったり、家で防災グッズを準備したり、中学生でもできることを多く学ぶことができました」と話していました。



地域の危険箇所はどこだろう？ 小中学生と地域住民で防災を考える

川内中学校、川上小学校の合同行事として「かわうちCDC」が行われました。災害時を想定し、中学生と地域住民が川上小学校へ避難した後、小学生も交えて、避難途中で見つけた倒壊しそうな建物などの危険箇所を共有しました。また、川上小学校の橋本校長から東日本大震災の「釜石の奇跡」のお話があり、想定に捉われずに行動することの大切さを学びました。

中学生の言葉が参加者の胸に響きました 社会を明るくする運動東温市大会

犯罪や非行のない明るい地域社会を築くことを目指し、第9回社会を明るくする運動東温市大会が川内公民館で開催されました。松山刑務所から講師を迎え、拘禁刑の創設に関する講演を始め、重信中学校2年生の福本沙恵さん、川内中学校2年生の橋本芽依さんの意見発表が行われました。中学生の意見発表は、右記の二次元コードからご覧いただけます。



全国6校の一つに選ばれました 東谷小学校が内閣総理大臣賞を受賞

東谷小学校が、交通安全など学校安全教育の取組で内閣総理大臣賞を受賞しました。中下校長(写真中央)は、内閣総理大臣から直接表彰状を受け取り、その様子を市長と教育長へ報告しました。中下校長は「地域、保護者、子どもたち、市教育委員会の支援で受賞でき、大変光栄です。これからも、子どもたちの生きる力が身に付く、学校安全教育を進めていきます」と意気込みを語りました。

大規模災害時の避難に備えて 福祉避難所の協定を締結

特定非営利活動法人とんとこと「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しました。本協定は、災害時に一般避難所での生活が難しい要配慮者の受入先となる福祉避難所を開設するため、施設使用の協力をいただくものです。市長は、「災害時の要配慮者支援体制の強化が求められており、本協定で、支援の取組が一層広がることを期待します」と述べました。



講演×熟議で子どもの安心・安全を考える 防災をテーマにトウオンミライカイギ開催

地域コーディネーターや学校運営協議会委員、PTA役員、教職員、地域住民等が課題を話し合い、活動の活性化を図るトウオンミライカイギ(主催：市教育委員会)が開催されました。地域学校協働活動や安心・安全な学校づくりに関する講演「これからの防災教育」を考える熟議が行われ、熟議では、「何も準備せず一日かけてサバイバルな防災訓練をする」「『暴れ川』と呼ばれる重信川の歴史を学ぶ」など、参加者同士でアイデアを出し合い、活発な意見交換を繰り返していました。

Interview



北吉井小学校 地域コーディネーター

小椋 さやか さん

北吉井小学校では、防災教育として避難所設営体験などをしてきましたが、地域を巻き込んだ活動はなかなか進んでいませんでした。今回さまざまな立場の人と熟議し、そうした活動が大切ということ再認識できたので、学校運営協議会で提案してみようと思います。